

令和 4 年 1 2 月 2 0 日

和光市長 柴崎光子 様

和光市環境づくり市民会議  
会長 峯岸正雄第 3 次和光市環境基本計画実行計画  
令和 3 年度環境施策実施状況に対する評価

「令和 3 年度環境施策実施状況」について、次の通り意見を申し上げます。

・令和 3 年度環境施策実施状況は第 3 次和光市環境基本計画実行計画の初年度として作成・取り纏められました。環境課より他課所管項目も含め丁寧な回答を戴きつつ、10 月 18 日、11 月 15 日及び 12 月 20 日の定例会（全体会議）に於いて当該提出資料に関する質疑を実施し、当該評価を取り纏めました。

・取組状況は全ての実行計画項目が従来同様、◎よく取り組めた ○ほぼ取り組めた △あまり取り組めなかった ×全く取り組めなかった の 4 段階で自己評価され、結果（項目数）は次の通りです。

【令和 3 年度の取組状況の評価】 備考：各数値は事業数を表示

	◎	○	△	×	計
望ましい姿 1	9	15	4	3	31
望ましい姿 2	6	21	5	1	33
望ましい姿 3	15	4	1	0	20
望ましい姿 4	3	14	2	4	23
計	33	54	12	8	107

参考：令和 2 年度との比較

	◎	○	△	×	計
令和 3 年度	33	54	12	8	107
— 適応策	5	5	1	0	11
補正後 3 年度	28	49	11	8	96
令和 2 年度	28	50	13	5	96

自己評価結果は全体として概ね良好な様子が窺えます。これは令和 3 年度に於いても各施策を所管する部署が市の厳しい財政状況や行政全般の効率化等様々な課題を抱える中で、コロナ禍にあっても第 3 次環境基本計画実行計画の着実な進捗を目指して様々に工夫しつつ取り組んだ結果と思われまます。

・全ての実行計画項目は取組事項の内容や性質から、一定のコストで一定の各種行政サービスの提供、換言すれば“十分達成した状態”が求められるものと、大型の施設整備等“計画期間内に達成することを目標とするもの”に大別されます。後者の評価は一般的に理解が容易ですが、前者は各年度の計画に明確に、極力具体的に、より高度或いはより良質なサービスの提供をより合理的なコスト水準で実現する等の工夫を織り込まずには、評価に対する第三者の理解・納得が得難いと思われま

す。  
・望ましい姿1「みんなで地球温暖化対策に取り組むまち」の中心テーマは市が独自に設定した二酸化炭素の削減目標達成にあります。各種緩和策の総合効果としてその達成を目指していますが、実績値の把握に時日を要することもあり、必要な時に時宜を得た助成金の新設等は困難が伴います。そこで、令和3年2月12日付で当時の環境審議会が前市長宛に提言した“気候非常事態に関する宣言表明”をその内容を見直しの上発出することを再度検討戴くようお願いします。

・望ましい姿2「豊かな水と緑を守り育み伝えるまち」の主題は第2次環境基本計画の全期間を通じて市の緑と湧水を如何に保全するかにありました。残念ながら多くの貴重な緑が相次いで消失し、落胆の連続でしたが、令和2年10月公園みどり課が発足し一条の光が射し込みました。同課は令和3年度に従来のみどりの基本計画の抜本的な見直しを主導、令和4年度以降対象用地の公有地化に向けて地主の同意取り付けや資金確保等難しい課題への積極的な取り組みの実行を切望します。

上記の緑の基本計画の見直しの過程で、都心に近い和光市に残る生物の多様性が改めて確認出来ました。未来永劫緑と湧き水を失うことが無きよう対策願います。

・望ましい姿3「安全で住み良い環境を未来につなぐまち」では、近年ごみ処理施設の老朽化対策が主要な懸案事項でしたが、関係者の努力で朝霞市との広域ごみ処理施設整備構想が合意され実現に向けて進捗しており喜ばしい限りです。

・望ましい姿4「環境を育てる心がつながるまち」では、当年度も市の関連部署と市民団体の連携で様々な活動が実施され多大な成果を生じました。一部のプログラムがコロナ禍で中止を余儀なくされましたが已む無しと考えます。

気懸りは今後本格的な人口減少社会に突入し、市民の協力を得ることが年々困難化すると思われま

すので、企業や学校との連携、各種イベントの情報発信、コミュニティスクール等周到な対応策の準備が肝要と考えま

す。  
・以上から総合的に勘案すると、令和3年度の取組は概ね適切と判断します。

以上

別紙 令和3年度環境施策実施状況調査表